

生きがい文化教室の実践について

～生きがい活動と文化活動を主体とした介護予防プログラム～

介護保険制度が始まる際、デイサービスを利用できなくなる利用者の日中の居場所作りとして始めた活動である。「楽しい」プログラムであることを目標にし、介護予防体操、レクリエーション等、様々なプログラムを実施してきた。介護保険を利用せず、10年間利用し続けてくださっている方が沢山いらっしゃるほどで、介護予防としての効果も上がっている。

社会福祉法人 **不動産会** 〒729-6143 広島県庄原市尾引町263番地2
TEL: 0824-74-0530/FAX: 0824-74-1633

◆ 法人の概要

法人設立年：昭和39年

経営施設、事業（数）：16施設（事業所）

経営施設、事業（種別）：

特別養護老人ホーム 1箇所、養護老人ホーム 1箇所、短期入所生活介護事業所 1箇所、居宅介護支援事業所 3箇所、デイサービスセンター 3箇所、訪問入浴介護事業所 1箇所、訪問介護事業所（障害者：居宅介護・重度訪問介護・移動支援事業） 1箇所、訪問看護ステーション 1箇所、認知症高齢者グループホーム 1箇所、老人介護支援センター 1箇所、認可外保育施設 1箇所、訪問給食（配食）事業 1箇所

◆ 法人の理念・経営方針

社会福祉法人不動産会（寿園・相扶園）は、昭和39年に妙延寺（浄土真宗）の記念事業として地域のみなさまに支えられて生まれた法人です。当法人の開設以来のモットーは「和顔愛語（わげんあいご）」です。緑豊かな環境の中で、和やかな笑顔とあたたかい言葉を交わしあい、相互に扶（たす）けあい敬愛しながら、ご利用者が安らぎと喜びを感じていただける文化生活の場を提供することを目的としています。

居宅サービスは、あの施設があればこそ、地域や家庭で皆が頑張っていけると、頼りにしていただけの地域福祉の拠点を目指しています。

◆ 実施施設の概要

施設名：※法人全体

活動開始年：平成11年4月

活動の頻度・時間：

庄原会場（広島県庄原市） 月2回
10:30～14:30 4時間 利用は一人原則1回、三次会場（広島県三次市） 月2回
10:30～14:30 4時間 利用は一人2回

活動の対象者：

参加を希望する地域の高齢者

活動実施の背景、実施にいたった理由

平成10年、数年後に介護保険制度が始まるといった時点のことである。その時点で、デイサービスを利用している人で「非該当」の認定を受けた場合、デイサービス利用ができなくなることが問題として認識された。「私達、福祉施設がその人たちを放っておいてはいけない」と考えた職員の声により、検討会議を開催した。デイサービスで来ていただいていた場所以外に、日中出かけられる場所を作る事については、すぐに決まった。しかし、高齢者が利用する会場選びについては、トイレ、食事等の課題も多く、学校の空き部屋、古民家、集会所等を検討したが中々決まらなかった。そのような中で、理事長が自ら講師を務めるショッピングセンターの文化教室の一環として、これまでのデイサービスに代わるプログラムを開講してみてはどうか、との提案がなされた。最終的に、洋式トイレがあり、食事、買物もセンター内のレストランやお店などで可能ということで、ショッピングセンターでの開講を決定した。

交通の便が悪い広島県中山間地域のため、施設のマイクロバスをメインに送迎を実施することになり、平成11年4月に開講した。

実施内容

「楽しい」を一番にプログラムを用意しており、介護予防体操とレクリエーションは殆ど毎回行っている。管理栄養士の栄養指導、健康についての講話、口腔ケア、市や警察の生活安全課の講話、ご法話、敬老演芸会、屋内運動会、忘年会、初釜、制作活動、介護用品についての教室、春・秋のドライブ、入湯の旅、和・洋食マナー教室、体力測定、千羽鶴作成など、実施している内容は多岐に渡る。

千羽鶴作成については、利用者が地域で友達やご近所の方々と折ったりして輪を広げられ、デイサービスの利用者や施設の入居者のものも合わせ、今年度は6万羽集まった。毎年、生きがい文化教室特別開講として、広島平和公園に持参しているが、地域の慰霊祭に奉納する分を除いて、3万4千

羽を奉納した。利用者から「今年もやりましょう。」と声のかかるプログラムの一つである。

活動効果

当初は10名くらいでの開講であったが、利用者の口コミ等で徐々に人数が増え、途中50名を越えた為、2班に分けて実施することとなった。最近では介護予防のインフォーマルなサービスとして、地域包括支援センターやケアマネジャーからの紹介もあり、現在、登録者が150名に達しようとしている。

利用者は、プログラムによって衣装を替えて参加されたり、美容院へ行って来たりと、参加する以上は楽しく過ごしたいという思いで準備をされて参加される。前日に整形外科通院をし、痛みを緩和させてから参加される方もいるほどである。皆、計画的に参加され、介護予防効果は上がっている。自ら進んで参加したいと思ってくださる場所にしたいと思い続けてきたが、当初の目的を超える効果をあげていると言える。一番効果を感じる点は、介護保険を利用せず、10年間利用し続けてくださっている方が沢山いらっしゃるということである。

今後の課題

文化教室スタッフは、職員とボランティアである。職員には限りがあり、パート職員とボランティアで会場準備から片付け、ごみの始末から掃除まで行っている。プログラム中は目配り、気配りから、制作活動の手伝いまで、幅広い業務をしていただいている。その業務の大きな割合を、ボランティアが担当しており、ボランティアの確保が非常に困難な状況である。職員についても、新しいスタッフの育成が一番大きな課題となっている。

